

平成29年度 第3回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会
議 事 録

日 時：平成29年12月8日(金) 10時00分～11時25分

会 場：本郷新記念札幌彫刻美術館 本館研修室

出席委員：斎藤義晶(札幌市市民文化局文化部文化振興課長)、四釜みちこ(札幌市立大倉山小学校PTA副会長)、坪田康嗣(宮の森まちづくりセンター所長)、吉田重弘(宮の森明和会会長)、渡辺寛志(札幌市立三角山小学校校長)、國松明日香(彫刻家)、寺嶋弘道(本郷新記念札幌彫刻美術館館長) 以上7名

所 管 課：工藤一也(札幌市市民文化局文化部文化振興課振興担当係長)、川上園代(同振興係事務職員)

事 務 局：垣内陽子(本郷新記念札幌彫刻美術館業務係長)、山下秀幸(同業務係事務職員)、山田のぞみ(同業務係事務職員)

- 次 第： 1 開会
2 議事
(1)平成29年度事業中間報告
(2)平成30年度事業の企画状況
(3)意見交換
(4)その他
3 閉会

当日配付資料：

- ・平成29年度第3回本郷新記念札幌彫刻美術館運営協議会次第
- ・平成29年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業中間報告
- ・本郷新記念札幌彫刻美術館平成30年度事業計画
- ・札幌彫刻美術館関連新聞掲載記事(写し)
- ・平成29年度開催事業チラシ(4種)

議事内容：

(1)平成29年度事業中間報告

事務局より配付資料に基づき平成29年度本郷新記念札幌彫刻美術館事業の中間報告及びこれからの事業について説明した。

○美術館めぐりについて

- ・斎藤委員：告知はどのようにしたのか。
- ・寺嶋委員：チラシ配布の他、過去の参加者にDMを送付した。実施方法や移手段などに課題があったため中断していたが、実施方法を改善し、このほど再開した。

○子ども向けワークショップについて

- ・四釜委員：親として嬉しい企画だ。反応等はどうか。

- ・事務局:家族の肖像関連事業で道新DO-BOXで実施したワークショップは大変好評だった。出品作家の今村育子氏が写真などを交えてやさしく美術史を解説した後、親子で作品制作を行った。サンクスデーでは、ちびっこ美術館探偵団へたくさんのお子さんの参加があった。同日に記念館で行った大人向けの本郷新作品の解説と内容が対照的でよかったと感じている。今後も親子で参加できる企画を実施していきたい。

(2)平成 30 年度事業の企画状況

事務局より配付資料の平成 30 年度事業計画について説明した。

(3)意見交換

事務局より、指定管理者制度について、現在の管理期間が今年度で終了し、先日選定委員会があり、来年度からも財団が彫刻美術館を管理していくことが内定したことを報告。

- ・斎藤委員:12 月 13 日の議会で正式決定する。これまで管理期間は4年だったが、次回から5年となる。
- ・事務局:美術館の魅力をどのように発信していくかが課題。これまで以上に本郷新の顕彰に力を注ぎたい。取り組みの一つとして、記念館に資料コーナーを設ける。また、「3日間だけのことに美術館」のようにアウトリーチ事業を行い、生前の本郷新を知っている世代だけでなく、若い世代にもPRしたい。

○入館者数について

- ・吉田委員:入館者総数 12,104 人となっている。数年前の館長は1万人を目指していたが超えたことはなかったが、数え方が違うのか。
- ・寺嶋委員:そのとおりだ。これまでは本館の入館者数だけだったが、記念館の入館者数も加えている。本館の入館者数のみで比べても既に今年は一昨年数字は超えている。ハローミュージアムで小学生が 1,300 人くらい来ているのも大きな要因。

○わくわく★アートスクールについて

- ・渡辺委員:子供への効果が教師にも見えてきてとてもよかった。来年度の実施を教師も子供も楽しみにしていると思う。新聞にも取り上げられ、感謝している。
- ・寺嶋委員:単年度の予定であったが、子供育成事業として来年度も実施することとした。
- ・四釜委員:アーティストやスタッフとの交流が楽しい一因。保護者の一人としてぜひ続けて欲しい。

○各世代へのPRなどについて

- ・國松委員:平岸高校が雪像彫刻展に来ているが、高校生にも美術館に来て勉強して欲しい。
- ・寺嶋委員:当館だけではないが、高校・大学生に対するアプローチが充分ではない。小・中学校生徒が高校生になって参加できるプログラムが必要。大人も各世代が美術館に足を運べるプログラムを作らねばならないと思う。
- ・國松委員:連続講座など、町に出て行くことはすばらしい。その人たちをどう来館に結びつけるか、フィードバックさせることをどう考えていくかが大事。
- ・寺嶋委員:連続講座はパスポートを発行し受講者はいつでも展覧会を見られるようにしている。本郷新自体を知らない人が増えてきており、ブランド力をどう維持するか、高めるか難しい。
- ・國松委員:美術館としてよく頑張っていると思う。市民交流プラザで本郷新の作品が展示されるなど、ペーパーだけでなく、生の力の情報発信は大きいと思う。

- ・坪田委員：入館者1万人は素晴らしい。この美術館の特性を生かした展示を続けて欲しい。
- ・寺嶋委員：オペラ衣装展を市民交流プラザと連携して実施する。こういう取り組みをしていることもアピールしたい。

(4)その他

次回開催 平成30年3月2日(金)10時(予定)